

[ことわざシリーズ] ことわざ1

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① 石の上にも () . . . つらくてもがまんし続ければ、必ず成功する。
- ② () の耳に念仏 . . . 人の意見に耳を貸さない。
- ③ () 先に立たず . . . あとになって悔やんでも遅い。
- ④ 親しき中にも () あり . . . どんなに親しい間柄でも、礼儀は守らなければならない。
- ⑤ () に金棒 . . . もともと強い者がさらに強くなる。
- ⑥ 立て () に水 . . . 流れるようにすらすら話をする。
- ⑦ 泣きっ面に () . . . 不幸に不幸が重なる。
- ⑧ () の美 . . . 最後までし遂げて、立派な成果をあげる。
- ⑨ () は口に苦し . . . よくきく薬は苦くて飲みにくい。
- ⑩ 備えあえば () なし . . . 普段から十分に準備しておけば、いざというときに心配がない。

良薬	鬼	板	蜂	有終
憂い	三年	礼儀	後悔	馬

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ1

年 組 氏名

- | | | |
|--------------------|---|------------------------|
| 解 | 答 | |
| ① 石の上にも (三年) | | 似た意味の四字熟語に「馬耳東風」があります。 |
| ② (馬) の耳に念仏 | | |
| ③ (後悔) 先に立たず | | 「礼儀」の儀は、にんべんを忘れないように。 |
| ④ 親しき中にも (礼儀) あり | | |
| ⑤ (鬼) に金棒 | | |
| ⑥ 立て (板) に水 | | 「優秀」ではありません。 |
| ⑦ 泣きっ面に (蜂) | | |
| ⑧ (有終) の美 | | 「うれい」と読みます。 |
| ⑨ (良薬) は口に苦し | | |
| ⑩ 備えあえば (憂い) なし | | |

良薬	鬼	板	蜂	有終
憂い	三年	礼儀	後悔	馬

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ2

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① 転ばぬ先の () . . . 失敗しないように用心をすることが大事。
- ② () からぼた餅 . . . 予期していなかった幸運にめぐり会う。
- ③ 立つ () 跡を濁さず . . . 後始末は見苦しくないようにきちんとすべきである。
- ④ 百聞は () にしかず . . . 百回聞くよりも一度見る方がよく理解できる。
- ⑤ ひょうたんから () が出る . . . 意外なところから意外なものが出てくる。
- ⑥ 大は () をかねる . . . 大きなものは小さなものの代わりとしても使える。
- ⑦ 情けは () のためならず . . . 他人への情けはめぐって自分のためになるので、人にはどんなときにも親切にする方がよい。
- ⑧ あぶ () 取らず . . . 二つのものを両方得ようとしてどちらも失敗すること。
- ⑨ () より慣れよ (ろ) . . . 実際に経験した方が他人に教えてもらうよりも早く身につく。
- ⑩ 逃げた () は大きい . . . 手に入れそこなったものはかえって価値があるように思われる。

小	棚	駒	魚	鳥
一見	習う	蜂	杖	人

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ2

年 組 氏名

解 答

- ① 転ばぬ先の (杖)
- ② (棚) からぼた餅
- ③ 立つ (鳥) 跡を濁さず
- ④ 百聞は (一見) にしかず
- ⑤ ひょうたんから (駒) が
出る
- ⑥ 大は (小) をかねる
- ⑦ 情けは (人) のためならず
- ⑧ あぶ (蜂) 取らず
- ⑨ (習う) より慣れよ (ろ)
- ⑩ 逃げた (魚) は大きい

棚の下に寝転んでいたら、ぼた餅が落ちてきて口の中に入ってきたところからできたことわざです。略して「たなぼた」ともいいます。

「飛ぶ鳥跡を濁さず」ともいいます。

「駒」は馬のことです。

意味に注意しましょう。「他人に情けをかけることは甘やかすことになりよくない」という意味ではありません。

似た意味のことわざに「二兎追う者は一兎をも得ず」があります。

小	棚	駒	魚	鳥
一見	習う	蜂	杖	人

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に

[ことわざシリーズ] ことわざ3

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① 能ある鷹は()を隠す . . . 才能を持っている人は、人にひけらかさない。
- ② 残り物に()がある . . . 最後に残っていた物に思いがけない拾い物がある。
- ③ 身から出た() . . . 自分のした悪い行いのために自ら受ける苦しみ。自業自得。
- ④ 目は()ほどにものを言う . . . 気持ちを込めた目つきは話す以上に相手に訴える。
- ⑤ おぼれる者は()をもつかむ . . . 非常に困難な状況にいる者はどんな小さな助けにも頼ろうとする。
- ⑥ のど元過ぎれば()忘れる . . . どんなに苦しいことも過ぎ去ってしまえば忘れてしまうものだ。
- ⑦ ()の下の力持ち . . . 人に知られずに陰で努力・苦勞している。
- ⑧ 絵に描いた() . . . 役に立たない物事。
- ⑨ えびで()を釣る . . . 小さな資本で大きな利益を得る。
- ⑩ 灯台()暗し . . . 灯台は遠くは明るくても、真下は暗い。離れていることには気づくが、身近なことにはかえって気がつかない。

熱さ	下	わら	福	口
たい	爪	さび	縁	もち

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ3

年 組 氏名

解 答

- ① 能ある鷹は（ 爪 ）を隠す
- ② 残り物に（ 福 ）がある
- ③ 身から出た（ さび ）
- ④ 目は（ 口 ）ほどにものを言う
- ⑤ おぼれる者は（ わら ）をもつかむ
- ⑥ のど元過ぎれば（ 熱さ ）忘れる
- ⑦ （ 縁 ）の下の力持ち
- ⑧ 絵に描いた（ もち ）
- ⑨ えびで（ たい ）を釣る
- ⑩ 灯台（ 下 ）暗し

四字熟語で自業自得のことです。

「目は心の窓」ともいいます。

意味の似たことばに「机上の空論」があります。

熱さ	下	わら	福	口
たい	爪	さび	縁	もち

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらいとさらに力がつくと思います。

〔ことわざシリーズ〕 ことわざ4

年 組 氏名

＜問題＞ 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① 負けるが () . . . あえて争わず、相手に勝ちを譲る方が、かえって利益を得る。
- ② やぶをつついて () を出す . . . しなくてもいいことをして苦勞が増すことのととえ。
- ③ 一寸先は () . . . 将来のことは少し先のことでも予測ができない。
- ④ 病は () から . . . 病氣は気持ち一つでよくもなるし、悪くもなるものだ。
- ⑤ 焼け石に () . . . 援助や努力がわずかで効果が上がらないこと。
- ⑥ 渡る世間に () はない . . . 世の中には鬼のような人はいないという意味。
- ⑦ () より証拠 . . . 口先の議論よりも証拠が大切である。
- ⑧ 木を見て () を見ず . . . 細かい点に注意しすぎて、全体がつかめない。
- ⑨ 弘法にも () の誤り . . . 書の名人でも間違えることはある。その道にすぐれたものでも失敗することがある。
- ⑩ 紺屋の () 袴 . . . 他人のために忙しくて、自分のことをする暇がない。

闇	筆	蛇	水	鬼
森	白	勝ち	論	氣

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ4

年 組 氏名

解 答

① 負けるが (勝ち)

似た意味のことわざ「逃げるが勝ち」があります。

② やぶをつついて (蛇) を出す

略して「やぶ蛇」ともいいます。

③ 一寸先は (闇)

④ 病は (気) から

「一寸」は約3センチです。

⑤ 焼け石に (水)

⑥ 渡る世間に (鬼) はない

⑦ (論) より証拠

⑧ 木を見て (森) を見ず

似た意味のことわざ「猿も木から落ちる」「河童の川流れ」があります。

⑨ 弘法にも (筆) の誤り

⑩ 紺屋の (白) 袴

「紺屋」は「こうや」と読みます。似た意味のことわざ「医者の不養生」があります。

闇	筆	蛇	水	鬼
森	白	勝ち	論	気

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に

[ことわざシリーズ] ことわざ5

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① 楽あれば () あり . . . 楽の後には苦しいことがある。世の中は楽なことばかりではない。
- ② 言わぬが () . . . はっきり本当のことを言ってしまうないほうがさしきわりがなく、味がある。
- ③ 魚心あれば () あり . . . 相手はこちらに好意を持つならば、こちらもそれに応じる気持ちを持つようになる。
- ④ うそから出た () . . . 初めはうそのつもりで言ったことが、結果として本当のことになること。
- ⑤ 負うた子に教えられて () を渡る . . . 時には年下で未熟な者から教えられることがあることのとえ。
- ⑥ () は三文の得 . . . 朝早く起きると何かいいことがある。
- ⑦ 鬼のいぬ間の () . . . 気がねする人や怖い人がいないときにのんびり好きなことをすること。
- ⑧ 住めば () . . . 住み慣れればどんなところでも住みよく思われるようになる。
- ⑨ うわさをすれば () . . . 人のうわさをすると、当人がちょうどやってくるものだ。
- ⑩ 李下に () を正さず . . . 他人から疑いをかけられるようなことをしてはいけない。

花	浅瀬	都	水心	苦
洗濯	影	早起き	冠	まこと

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ5

年 組 氏名

- ① 楽あれば (苦) あり
- ② 言わぬが (花)
- ③ 魚心あれば (水心) あり
- ④ うそから出た (まこと)
- ⑤ 負うた子に教えられて
(浅瀬) を渡る
- ⑥ (早起き) は三文の得
- ⑦ 鬼のいぬ間の (洗濯)
- ⑧ 住めば(都)
- ⑨ うわさをすれば (影)
- ⑩ 李下に (冠) を正さず

解 似た意味のことわざに「楽は苦の種、苦は楽の種」があります。

「得」は「徳」と書くこともあります。
「三文」はわずかなお金のこと。

「鬼」はこわい人、「洗濯」は気晴らしの意味です。

「李下」は「りか」と読みます。意味はスモモの木の下のことです。「冠」は頭にかぶるもののこと。スモモの木の下で、頭にかぶるものを直していたら、スモモを盗むと疑われてしまうよ、だから人から疑われるまぎらわしい行動は気をつけなさいという意味です。

花	浅瀬	都	水心	苦
洗濯	影	早起き	冠	まこと

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。
一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ6

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① () あっての物種 . . . 命の危険を冒すようなことはするな。
- ② () をあだで返す . . . 相手の親切に感謝せず、かえってひどいことをすること。
- ③ () も方便 . . . ときにはうそも必要な場合がある。
- ④ () は急げ . . . 良いことをするときにはためらうな。
- ⑤ 知らぬが () . . . 知らずにいれば、平気でいられるものだ。
- ⑥ () は熱いうちに打て . . . 人は若いうちにきたえられるべきだ。何事も時期を逃してはならない。
- ⑦ 火に () を注ぐ . . . 物事の勢いをいっそうさかんにする。
- ⑧ 骨折り () のくたびれもうけ . . . 苦勞をするだけで、何の利益も得られないこと。
- ⑨ () に腕押し . . . はりあいも手ごたえもないこと。
- ⑩ 出る () は打たれる . . . すぐれている人や出しゃばる人はとかく憎まれたり、非難されたりする。

のれん	仏	うそ	油	くい
命	鉄	善	恩	損

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ6

年 組 氏名

解 答

- ① (命) あっての物種
- ② (恩) をあだで返す
- ③ (うそ) も方便
- ④ (善) は急げ
- ⑤ 知らぬが (仏)
- ⑥ (鉄) は熱いうちに打て
- ⑦ 火に (油) を注ぐ
- ⑧ 骨折り (損) のくたびれもうけ
- ⑨ (のれん) に腕押し
- ⑩ 出る (くい) は打たれる

「方便」とは人を救うために用いる巧みな方法のことです。

似た意味のことわざに「ぬかに釘」「豆腐にかすがい」があります。「ぬか」「のれん」「豆腐」はどれもしっかりさせようと思っても、柔らかくて頼りないものです。

のれん	仏	うそ	油	くい
命	鉄	善	恩	損

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ7

年 組 氏名

＜問題＞ 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- | | |
|--------------------|--------------------------------------|
| ① 花より () | ・・・名声や外見だけが美しいものより、実際に役立つものの方がよい。 |
| ② 人の () も七十五日 | ・・・世間のうわさは長くは続かないこと。 |
| ③ 雨降って () 固まる | ・・・もめ事のあとは、かえって物事がうまくおさまる。 |
| ④ () は寝て待て | ・・・幸運はあせらずに気長に待つのがよい。 |
| ⑤ () 身につかず | ・・・不正に得たお金はすぐに使って残らない。 |
| ⑥ とびに () をさらわれる | ・・・大切なものを横取りされて、ぼうぜんとしている。 |
| ⑦ 門前の小僧習わぬ () を読む | ・・・習わなくても、いつも見たり聞いたりしていると自然に身につくものだ。 |
| ⑧ 昔取った () | ・・・昔きたえた自信のある腕前。 |
| ⑨ 類は () を呼ぶ | ・・・同類のものは自然に集まる。 |
| ⑩ () 人を待たず | ・・・年月は人にかまわず速く流れ去る。 |

きねづか	経	果報	団子	歲月
油揚げ	うわさ	地	悪銭	友

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ7

年 組 氏名

解 答

- ① 花より（ 団子 ）
- ② 人の（ うわさ ）も七十五日
- ③ 雨降って（ 地 ）固まる
- ④ （ 果報 ）は寝て待て
- ⑤ （ 悪銭 ）身につかず
- ⑥ とびに（ 油揚げ ）をさらわれる
- ⑦ 門前の小僧習わぬ（ 経 ）を読む
- ⑧ 昔取った（ きねづか ）
- ⑨ 類は（ 友 ）を呼ぶ
- ⑩ （ 歳月 ）人を待たず

「果報」とは幸せ。幸運のこと。

もちなどを打つ道具を「きね」。「つか」とは「きね」の「握る部分。もちて」のことです。

きねづか	経	果報	団子	歳月
油揚げ	うわさ	地	悪銭	友

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらおうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ8

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① () は身を助ける . . . 一つの芸にすぐれていると、困ったときに生計の助けとなる。
- ② 九死に () を得る . . . 死ぬかと思われるほどの危険の中から助かる。
- ③ ちりも積もれば () となる . . . わずかなものでもたくさん積み重なると、ついには大きなものになる。
- ④ 亀の甲より年の () . . . 年長者の経験は尊重すべきものだ。
- ⑤ 壁に耳あり () に目あり . . . ないしょの話はとかくもれやすいものだ。
- ⑥ 会うは () の始め . . . 会えば必ずいつか別れがある。
- ⑦ () に短したすきに長し . . . 中途半端で役に立たない。
- ⑧ 腐っても () . . . いいものは悪くなくても値打ちがある。
- ⑨ () の持ち腐れ . . . 役に立つ物や才能がありながら、それを活用しないこと。
- ⑩ () に交われば赤くなる . . . 人はつき合う友達によって、良くも悪くもなる。

帯	朱	功	鯛	宝
別れ	山	芸	障子	一生

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ8

年 組 氏名

解 答

- ① (芸) は身を助ける
- ② 九死に (一生) を得る
- ③ ちりも積もれば (山) と
なる
- ④ 亀の甲より年の (功)
- ⑤ 壁に耳あり (障子) に
目あり
- ⑥ 会うは (別れ) の始め
- ⑦ (帯) に短したすきに長し
- ⑧ 腐っても (鯛)
- ⑨ (宝) の持ち腐れ
- ⑩ (朱) に交われば赤くなる

「亀の甲」は「亀のこうら」のこと。「年の功」は長年の経験の意味。「亀の甲」と「年の功」の「こう」の語呂を合わせておもしろく言ったものです。

似た意味のことわざに「破れても小そで」があります。

帯	朱	功	鯛	宝
別れ	山	芸	障子	一生

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ9

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① せいては () をし損じる . . . あまり急ぐと失敗しやすい。
- ② () の上のこぶ . . . 自分より地位や実力が上で、何かにつけてじゃまになる人。
- ③ 火のないところに () はたたぬ . . . うわさが立つのは、もとになるできごとがあるからだ。
- ④ 馬子にも () . . . どんな人でも、いい服装をすれば立派に見える。
- ⑤ () はもち屋 . . . 何事も、その専門家にはかなわないものだ。
- ⑥ やぶから () . . . だしぬけで思いがけないこと。
- ⑦ ぬれ手で () . . . 苦勞をしないで利益を得るたとえ。
- ⑧ () の背くらべ . . . どれもみな平凡なものばかりだ。どれもたいしたことはない。
- ⑨ () には念を入れよ . . . 注意の上にも注意をしろ。ていねいにしろ。
- ⑩ () より生むが易し . . . いざ実行してみると心配していたよりもうまくいくものだ。

念	こと	目	棒	もち
どんぐり	衣装	粟	煙	案ずる

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ9

年 組 氏名

解 答

- ① せいては（こと）をし損じる 似た意味のことわざ「急がば回れ」があります。
- ② （目）の上のこぶ 目の上にあるこぶはうっとうしいところから。
- ③ 火のないところに（煙）は
たたぬ 馬子は馬をひいて人や荷物を運ぶことを仕事
としている人のこと。
- ④ 馬子にも（衣装） 似た意味のことわざ「海のことは獺師に問
え」「田作る道は農に問え」があります。
- ⑤ （もち）はもち屋 似た意味のことわざ「青天のへきれき」「寝耳に水」が
- ⑥ やぶから（棒） 「粟」は穀物の一種。粒が小さくて軽いので、ぬれた手
でつかむと簡単にたくさんつかめることからできたこと
わざです。四字熟語では「一獲千金」が似た意味になり
- ⑦ ぬれ手で（粟） 似た意味の熟語に「五十歩百歩」「大同小異」が
あります。
- ⑧ （どんぐり）の背くらべ
- ⑨ （念）には念を入れよ
- ⑩ （案ずる）より生おが易し 「案ずる」は考える、心配するという意味。

念	こと	目	棒	もち
どんぐり	衣装	粟	煙	案ずる

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ] ことわざ10

年 組 氏名

<問題> 次の①～⑩のことわざの意味を読んで、()に入る言葉を、下の言葉から探し書きましょう。

- ① () をたたいて渡る . . . 用心を重ねる。
- ② 枯れ木も () のにぎわい . . . つまらないものでもないよりはました。
- ③ 勝ってかぶどの () を締めよ . . . 物事が思い通りに進んでも油断せず、ますます注意せよ。
- ④ 頭隠して () 隠さず . . . 自分では完全に隠したつもりでいて、実は隠しきれていないことに気がつかない。
- ⑤ () は口ほどにものをいう . . . 感情を込めた目つきは、話すのと同じくらい気持ちを相手に伝えるものだ。
- ⑥ 下手の () 好き . . . 下手なくせにそのことがひどく好きで熱心なこと。
- ⑦ () の顔も三度まで . . . どんなにおだやかな人でも、何度もひどいことをされれば、腹を立てる。
- ⑧ () は道連れ世は情け . . . 旅行にはよい道連れがあれば助け合って安心だ。同じように、この世に生きていくには人の助け合いが必要である。
- ⑨ まかぬ () は生えぬ . . . 何もしないでいては、良い結果は得られない。
- ⑩ 笑う門には () 来る . . . いつもにこにこしている人のところには、自然と幸運がやってくる。

仏	種	石橋	旅	目
福	山	横	緒	尻

①～⑩のうち、1つを選んで短い文を作ってみましょう。

ことわざの番号 ()

[ことわざシリーズ] ことわざ10

年 組 氏名

解 答

① (石橋) をたたいて渡る

ことわざシート9に出てきた「念には念を入れよ」と似た意味のことわざです。

② 枯れ木も (山) のにぎわい

「かぶとの緒」とは首に結ぶ紐のこと。

③ 勝つかぶとの (緒) を締めよ

④ 頭隠して (尻) 隠さず

きじは草むらに頭を突っ込んで隠れたつもりになっているが、尾が外へ突き出て丸見えになっていることから。

⑤ (目) は口ほどにものをいう

⑥ 下手の (横) 好き

「横好き」はやたらに好むこと。

⑦ (仏) の顔も三度まで

⑧ (旅) は道連れ世は情け

⑨ まかぬ (種) は生えぬ

⑩ 笑う門には (福) 来る

仏	種	石橋	旅	目
福	山	横	緒	尻

学習するみなさんへ：

グループ学習で使う場合は、短作文をお互いに見直したり、先生にも見てもらうようにしましょう。

一人学習で使うときもできるだけ作文を作ってみて、あとで先生に見てもらおうとさらに力がつくと思います。

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ11

年 組 氏名

問題: 次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

① あぶはち 虻蜂取らず

② こうや 紺屋の しろばかま 白袴

③ いそ 急がば回れ

④ 馬の耳に ねんぶつ 念仏

⑤ かつぱ 河童の川流れ

(ア) 医者ふようじょうの不養生

(イ) 馬耳東風ばじとうふう

(ウ) 二兎にと追うものは一兎いっとも得ず

(エ) 猿も木から落ちる

(オ) 急せいては事しそんを仕損じる

①

②

③

④

⑤

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ11

年 組 氏名

問題: 次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

- ① ^{あぶはち} 虻蜂取らず ← 二つのものを両方得ようとしてどちらも失敗すること。
- ② ^{こうや} 紺屋の ^{しろばかま} 白袴 ← 他人のために忙しくて、自分のことをする暇がない。
- ③ ^{いそ} 急がば回れ ← 急ぐ時は、危険な近道よりも遠回りでも安全な道を選ぶ方が目的地に早く着くということ。
- ④ 馬の耳に ^{ねんぶつ} 念仏 ← 人の意見に耳を貸さない。
- ⑤ ^{かつば} 河童の川流れ ← どんなに熟達した人でも、時には失敗することがあるというたとえ。

(ア) 医者 ^{ふようじょう} の不養生(イ) 馬耳 ^{ばじとうふう} 東風(ウ) 二兎 ^{にと} 追うものは一兎 ^{いっと} も得ず

(エ) 猿も木から落ちる

(オ) 急 ^せ いては事 ^{しそん} を仕損じる

①

ウ

②

ア

③

オ

④

イ

⑤

エ

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ12

年 組 氏名

問題: 次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

① 果報は寝^ねて待^まて

② 雀^{すずめ}百^{ひゃく}まで踊^{おど}り忘れ^{わす}ず

③ 月^{つき}とすっぽん

④ 泣^なきつ^{つら}面に^{はち}蜂

⑤ 糠^{ぬか}に釘^{くぎ}

(ア) 三^みつ子^この魂^{たま}百^{ひゃく}まで

(イ) 暖^{のれん}簾^{れん}に腕^{うで}押^おし

(ウ) 弱^{よわ}り目^めに崇^たり目^め

(エ) 待^まてば海^{かい}路^ろの日^ひ和^{より}あり

(オ) 提^{ちよう}灯^{ちん}に釣^つり鐘^{かね}

①

②

③

④

⑤

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ12

年 組 氏名

問題: 次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

- ① 果報は寝て待て ← 幸運はあせらずに気長に待つのがよい。
- ② 雀百まで踊り忘れず ← 幼いとき身についた習慣は、年をとっても忘れないということ。
- ③ 月とすっぽん ← 比較にならないほど違っているということ。
- ④ 泣きつ面に蜂 ← 不幸に不幸が重なる。
- ⑤ 糠に釘 ← 手ごたえのないこと。

(ア) 三つ子の魂百まで

(イ) 暖簾に腕押し

(ウ) 弱り目に祟り目

(エ) 待てば海路の日和あり

(オ) 提灯に釣り鐘

①

エ

②

ア

③

オ

④

ウ

⑤

イ

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ13

年 組 氏名

問題：次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

- ① ねこ こばん 猫に小判
- ② ほとけつく たましいい 仏作って魂入れず
- ③ やみよ ちょうちん 闇夜に提灯
- ④ み で さび 身から出た錆
- ⑤ め くち もの い 目は口ほどに物を言う

(ア) じごく ほとけ 地獄で仏

(イ) め ところ まど 目は心の窓

(ウ) ぶた しんじゆ 豚に真珠

(エ) がりょうてんせい か 画竜点睛を欠く

(オ) じごうじとく 自業自得

①

②

③

④

⑤

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ13

年 組 氏名

問題: 次の①から⑤のことわざと似た意味のことわざを選び、記号で答えなさい。

- ① ねこ こばん 猫に小判 ← 価値のあるものでも、値打ちがわからない者には役に立たないということ。
- ② ほとけつく たましいい 仏作って魂入れず ← 物事をほとんど仕上げおきながら、一番大切な部分が出来ていないということ。
- ③ やみよ ちょうちん 闇夜に提灯 ← 危険が迫っている時や困っている時に、思いがけない助けにあうことのとえ。
- ④ み で さび 身から出た錆 ← 自分のした悪い行いのために自ら受ける苦しみ。
- ⑤ め ぐち もの い 目は口ほどに物を言う ← 目つきというものは、言葉と同様に感情を伝えるものだということ。

(ア) じごく ほとけ 地獄で仏(イ) め ところ まど 目は心の窓(ウ) ぶた しんじゆ 豚に真珠(エ) がりょうてんせい か 画竜点睛を欠く(オ) じごうじとく 自業自得

①

ウ

②

エ

③

ア

④

オ

⑤

イ

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ14

年 組 氏名

問題：次のことわざは、どのような表現技法を利用していますか。
それぞれ語群から選び記号で答えなさい。

① 壁^{かべ}に耳^{みみ}あり障子^{しょうじ}に目^めあり

② 光陰^{こういん}矢^やのごとし

③ 月^{つき}とすっぽん

④ 急^{いそ}がば回^{まわ}れ

⑤ 餅^{もち}は餅屋^{もちや}

(ア) 比^ひ喩^ゆ(た^たと^とえ)を^を用^{もち}いる

(イ) 対^つ句^{いく}を^も用^ちいる

(ウ) 語^ごを^{たい}対^ひ比^ひさ^させる

(エ) 同^{どう}音^{おん}を^{かさ}重^{かさ}ね^る・語^ご呂^ろを^あ合^あわ^せる

(オ) 逆^{ぎやく}説^{せつ}的^{てき}に^い言^いう

①

②

③

④

⑤

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ14

年 組 氏名

問題：次のことわざは、どのような表現技法を利用していますか。
それぞれ語群から選び記号で答えなさい。

- ① 壁に^{かべ}耳^{みみ}あり障子^{しょうじ}に^め目あり ← 誰がどこで聞いているかわからないということ。
- ② 光陰^{こういん}矢^やのごとし ← 月日は矢のように早く過ぎて行くという意味。
- ③ 月と^{つき}すっぽん ← 比較にならないほど違っているということ。
- ④ 急^{いそ}がば^{まわ}回れ ← 急ぐ時は、危険な近道よりも遠回りでも安全な道を選ぶ方が目的地に早く着くということ。
- ⑤ 餅^{もち}は餅屋^{もちや} ← 何事も、その専門家にはかなわないものだ。

(ア) 比^ひ喩^ゆ(たとえ)を用^{もち}いる

(イ) 対^つ句^{いく}を用^{もち}いる

(ウ) 語^ごを対^{たい}比^ひさせる

(エ) 同^{どう}音^{おん}を重^{かさ}ねる・語^ご呂^ろを合^あわせる

(オ) 逆^{ぎやく}説^{せつ}的^{てき}に言^いう

①

イ

②

ア

③

ウ

④

オ

⑤

エ

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ15

年 組 氏名

問題：次のことわざは、どのような表現技法を利用していますか。
それぞれ語群から選び記号で答えなさい。

- ① ねこ こばん 猫に小判
- ② な ななくせ 無くて七癖
- ③ き ごくらく み じごく 聞いて極楽見て地獄
- ④ ま か 負けるが勝ち
- ⑤ かっぱ かわなが 河童の川流れ

- (ア) ひゆ もち 比喩(たとえ)を用いる
- (イ) ついく もち 対句を用いる
- (ウ) ご たいひ 語を対比させる
- (エ) どうおん かさ ごろ あ 同音を重ねる・語呂を合わせる
- (オ) ぎやくせつ てき い 逆説的に言う

①

②

③

④

⑤

[ことわざシリーズ パートⅡ] ことわざ15

年 組 氏名

問題: 次のことわざは、どのような表現技法を利用していますか。
それぞれ語群から選び記号で答えなさい。

- ① ^{ねこ}猫に^{こばん}小判 ← 値打ちが分からない相手にもものを与えるたとえ。
- ② ^な無くて^{ななくせ}七癖 ← 誰でも多少は、何らかの癖を持っているものということ。
- ③ ^き聞いて^{ごらく}極楽^み見て^{じごく}地獄 ← 話と実際とは大違いだということ。話だけでは良いが、実際に経験すると悪いことが多いというたとえ。
- ④ ^ま負けるが^か勝ち ← あえて争わず、相手に勝ちを譲る方が、かえって利益を得る。
- ⑤ ^{かっぱ}河童の^{かわなが}川流れ ← どんなに熟達した人でも、時には失敗するというたとえ。

- (ア) ^{ひゆ}比喩(たとえ)を用いる
- (イ) ^{ついく}対句を用いる
- (ウ) ^ご語を^{たいひ}対比させる
- (エ) ^{どうおん}同音を^{かさ}重ねる・^{ごろ}語呂を^あ合わせる
- (オ) ^{ぎやくせつ}逆説的に^い言う

①

ウ

②

エ

③

イ

④

オ

⑤

ア